

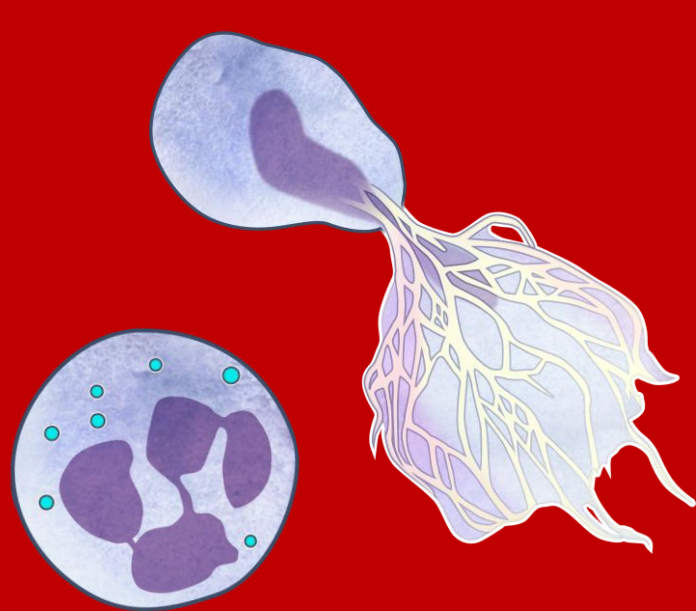
# 自己免疫疾患の治療法開発へ

—「好中球」からひも解く

抗リン脂質抗体症候群のメカニズム—

荒井 粹心

北海道大学 大学院保健科学院  
病理・免疫検査学研究室



## 未来社会のあるべきかたち

- 原因不明の病気で苦しむ人がいない
- どんな病気でも「完治」が目指せる

## 抗リン脂質抗体症候群（APS）

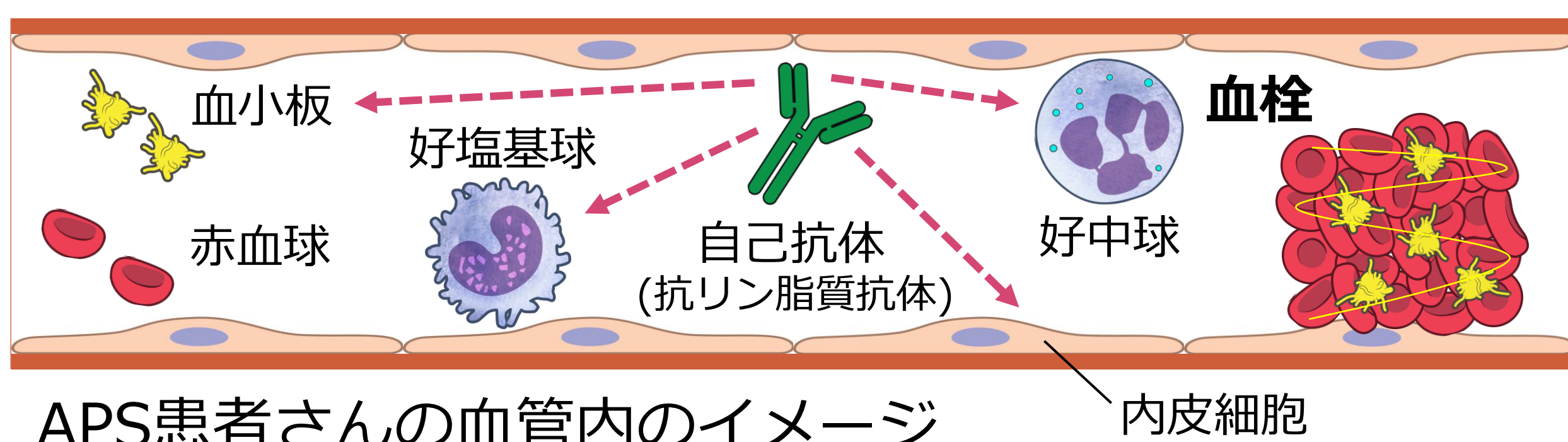
脳や肺の  
血管に多い

Q. どんな病気？

A. 全身に血のかたまり（**血栓**）ができてしまう病気

Q. どうして血栓ができるの？

A. 体の一部を攻撃する抗体（**自己抗体**）が関係…？



※1



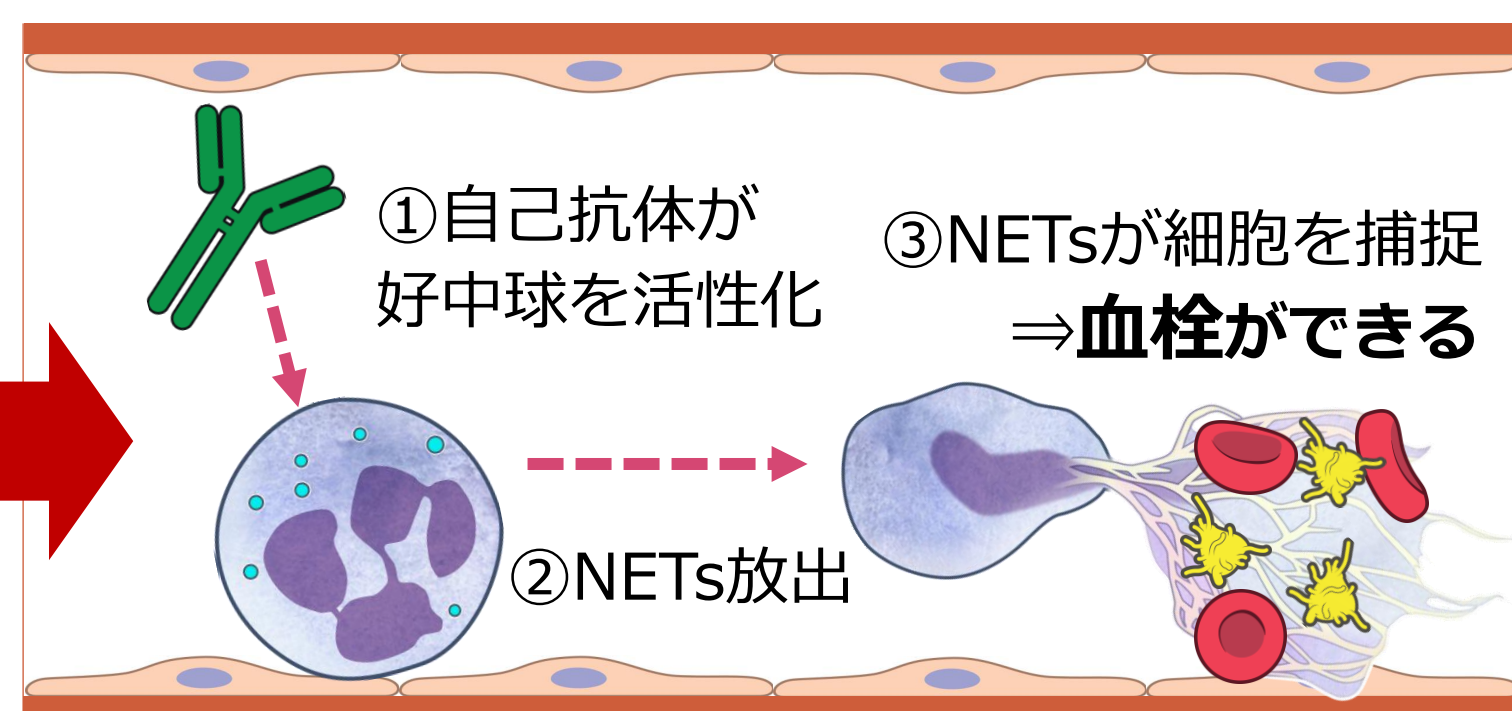
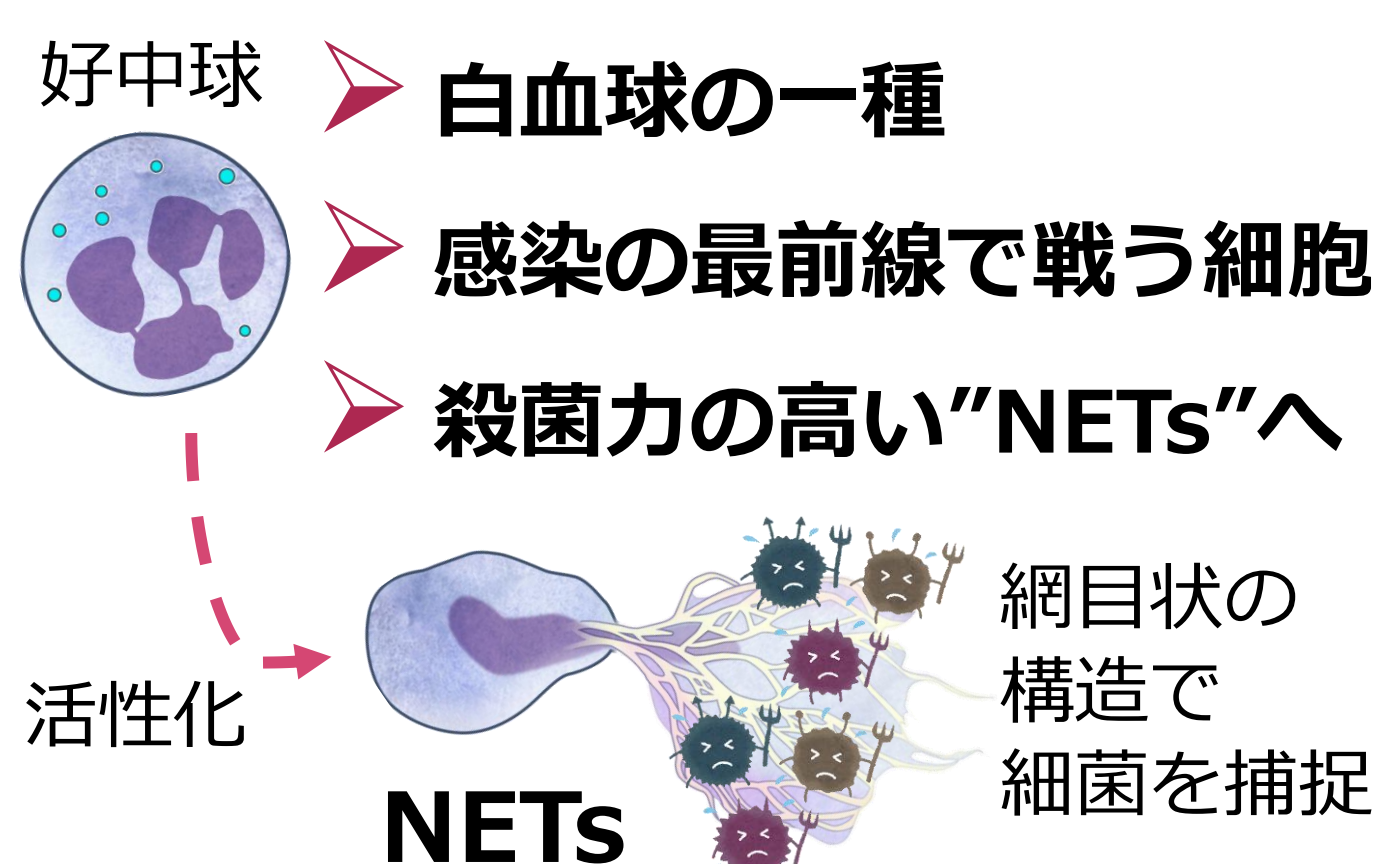
### 課題

- 自己抗体が血栓をつくる仕組みは、まだわかっていない
- 症状を抑える薬はあっても、「完治」させる治療法はない

### 仮説と課題解決に向けた取り組み

血栓のメカニズムがわからない⇒様々な細胞があって複雑

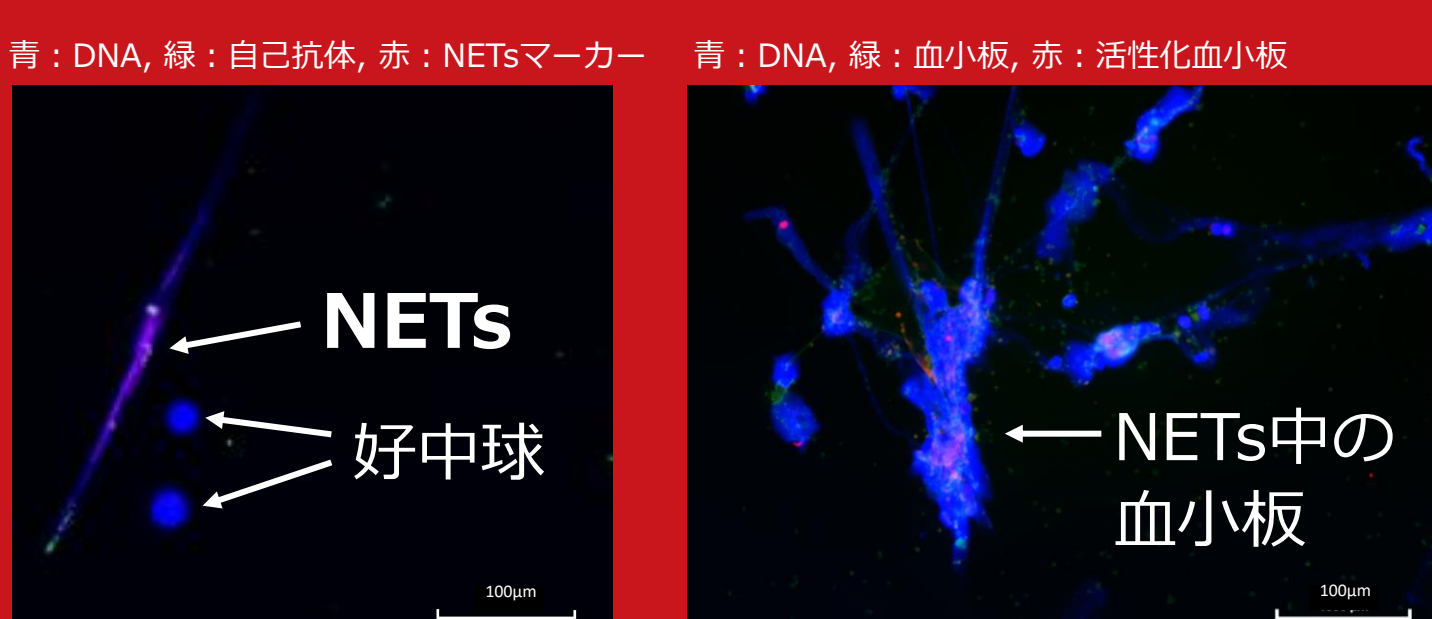
血栓の主役が **好中球** であると仮説を立てて検証！



⇒生体外でこの仮説を検証する

### 研究成果

- ◎ 自己抗体の一種がNETsを誘導することを新発見！
- ◎ NETsが血小板を捕捉し、活性化させることを実証



### 本研究が社会にもたらす影響

- APSにおける原因不明の血栓の仕組みの一部を解明
  - 好中球を対象とした「根本的治療法」開発のきっかけ
- ⇒「未来社会のあるべきかたち」の実現へ前進

